

## 欠席委員の意見

## ○空港・航空業界の動向を踏まえ、将来の但馬空港はどうあるべきか

- ・小規模の空港でも運営方法によって希少性を高めることができ、魅力的な空港になる可能性がある。大きな空港ではできない小さい空港ゆえの利用方法もあるだろう。
- ・コウノトリという素晴らしい愛称を体現化し、環境に優しく自然と共生する空港運営を目指すべきである。

## ○地域が望む但馬空港の姿を実現するために検討すべき事項は何か。

- ・南海トラフ地震等の自然災害に対するバックアップ機能を確保するという観点から機能強化策を検討するべきである。
- ・自動車の自動運転、空飛ぶ自動車、リニア新幹線等、今後10年程で人の輸送に係わる技術革新が大きく進展する。これらの動きを視野に入れ、空港に求める機能とは何か見直す時期にある。
- ・機能強化策の検討にあたっては、人や物の輸送、災害時のバックアップという空港の持つ大きな役割を、空港の規模を大きくする場合しない場合でメリット・デメリットをマトリックスで整理すること。

## ○今後の検討の参考にすべき空港はどこか。

- ・福島空港では、震災ツーリズムやクラフト教室等の取り組みを空港で行い、また魅力的な空港レストランも充実し、賑わいが創出されている。地域と一体となった空港運営方法について、福島空港の事例を参考にすると良い。